

選択必修講習（6時間）

講習名	【選択必修】教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む。）	
	実施日時	教室
	7月31日（水）8：50～17：20	未定
持参物	筆記用具	

【講習の概要】

前半は、不登校の基本的な理解と対応について概説する。また、教育相談におけるカウンセリングマインドを養うために、傾聴を中心とする聞く技術の向上のための講義ならびに演習を行う。

後半は、教師自らが教師役、子ども役および保護者役となるロールプレイを通して、どのように面談すればよいかを学修する。いじめや不登校の子どもや保護者を演じると同時に、教師としての傾聴力や応答のクセを理解する。

【講習の目的】

教育相談技法とコミュニケーション力の習得

【到達目標】

- ・児童・生徒と保護者の心理を感じ取れる相談技法を学ぶ。
- ・教師のコミュニケーション力をチェックし、日常の相談・指導にいかにか活かすかを学ぶ。

【試験方法】

（午前）筆記試験 30分、持込可 （午後）筆記試験 30分、持込可

【評価の観点】

学校における教育相談の技法をどの程度理解し、実施できる手がかりをどの程度つかんでいるか。自分自身のコミュニケーション力の現状や問題点を自覚でき、学校カウンセリングにおける対人関係で生じる現象に気づけたか。

【受講に際しての参考図書】

特になし

【講習全体スケジュール】

時間帯	内 容
8:50～9:10	受付
9:10～9:20	オリエンテーション【事務】
9:20～10:35	◆講義と実習【佐藤 ^淳 】 1 不登校の基本的な理解と対応
10:35～10:45	休憩
10:45～12:00	◆講義と実習【佐藤 ^淳 】 2 カウンセリングマインドを養うための傾聴と応答 (1) 講義 (2) 演習
12:00～12:10	休憩
12:10～12:40	★試験（筆記）【佐藤 ^淳 】
12:40～13:40	昼休憩
13:40～14:40	◆講義と実習【佐藤 ^安 】 3 教育相談における「問題」場面の応答の実際 (1) 講義：教育相談における「問題」場面の応答の理解 (2) 演習：4人1組での「問題場面のシナリオ作成」
14:40～14:50	休憩
14:50～16:20	◆実習【佐藤 ^安 】 4 シナリオを使ったロールプレイの体験とよりよい応答の練習体験 (1) 4人1組の中から、先生役1名・生徒役1名を選んでシナリオに沿って応答する。 (2) 2名は観察役となり「やりとりの良かった点」を指摘する。 (3) 「もっとよくするにはどうしたらよいか」4人で相談する。 (4) これを受けて再度、応答練習をする。 (5) 役割を交代してもう一度(1)～(4)を繰り返す。 (6) 全体討論
16:20～16:30	休憩
16:30～17:00	★試験（筆記）【佐藤 ^安 】
17:00～17:20	事後評価アンケート記入・事務連絡等

※ 遅刻・早退は認められません。

【講師紹介】

担当者	プロフィール
佐藤 安子	文学部教授（臨床心理学、健康心理学、認知行動的精神療法）
佐藤 淳一	文学部准教授（臨床心理学、力動的心理療法）